

資料編

| | | |
|---|--------------------------|-----|
| 1 | 南アルプス市の教育振興プラン策定委員会 委員名簿 | 79 |
| 2 | 南アルプス市の教育振興プラン策定作業部会 構成員 | 80 |
| 3 | 南アルプス市の教育振興プラン策定委員会要綱 | 81 |
| 4 | 南アルプス市の教育振興プラン策定経過 | 82 |
| 5 | パブリックコメントの実施概要 | 84 |
| 6 | 南アルプス市生涯学習に関する市民アンケート結果 | 85 |
| 7 | 成果指標一覧 | 102 |

1 南アルプス市の教育振興プラン策定委員会 委員名簿

| No. | 区分 | 氏名 | 所属・役職 | 備考 |
|-----|--------|--------|------------------|------|
| 1 | 学識経験者 | 鶴田 美津枝 | 元小学校 校長 | 会長 |
| 2 | | 仙洞田 篤男 | 大学非常勤講師 | |
| 3 | | 萩原 智子 | 高等学校非常勤講師 | |
| 4 | | 名取 常雄 | 市議会厚生文教常任委員会 委員長 | 1~3回 |
| | | 中込 恵子 | 市議会厚生文教常任委員会 委員長 | 4~6回 |
| 5 | 学校教育関係 | 中込 幸二 | 市立小・中学校長 代表 | |
| 6 | | 渡邊 寿子 | 市立小・中学校長 代表 | |
| 7 | | 三浦 聖人 | 市連合PTA 会長 | |
| 8 | | 浅賀 綾 | 市連合PTA 副会長 | |
| 9 | 社会教育関係 | 佐野 一彦 | 市社会教育委員会 議長 | 副会長 |
| 10 | | 安達 映美 | 市図書館協議会 会長 | |
| 11 | | 土屋 喜幸 | 市青少年育成市民会議 会長 | |
| 12 | | 渡邊 次朗 | 市国際交流協会 会長 | |
| 13 | | 塚原 仁志 | 市スポーツ推進委員会 会長 | |
| 14 | | 新津 健 | 市文化財保護審議会 会長 | |

2 南アルプス市の教育振興プラン策定作業部会 構成員

| No. | 氏名 | 所属 | 役職 |
|-----|--------|---------|------------------------------------|
| 1 | 五味 正寿 | 教育総務課 | 教育政策庶務担当リーダー |
| 2 | 切刀 潤 | 教育総務課 | 学事計画担当リーダー |
| 3 | 折居 弘美 | 教育総務課 | 保健給食担当リーダー |
| 4 | 清水 学 | 教育総務課 | 教育施設担当リーダー |
| 5 | 松下 浩 | (教育総務課) | 白根・八田学校給食センター (北部学校給食センター) リーダー |
| 6 | 田中 幹雄 | (教育総務課) | 若草学校給食センター (南部学校給食センター) リーダー |
| 7 | 小林 智奈美 | 学校教育推進課 | 教育指導担当リーダー |
| 8 | 石田 啓 | 生涯学習課 | 生涯学習担当リーダー |
| 9 | 清水 恭子 | 生涯学習課 | 青少年担当リーダー |
| 10 | 高畑 英司 | 生涯学習課 | 社会体育担当リーダー |
| 11 | 田中 大輔 | 文化財課 | 文化財担当リーダー |
| 12 | 森田 享子 | 市立図書館 | 総務・資料担当リーダー |
| 13 | 保坂 なおみ | 市立図書館 | サービス担当リーダー |
| 14 | 矢野 晴代 | 市立美術館 | 美術館総務担当 |

※平成28年度時点

3 南アルプス市の教育振興プラン策定委員会要綱

(設置)

第1条 教育基本法（平成18年法律第120号）第17条第2項の規定に基づき、本市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画（以下「計画」という。）の策定に当たり、幅広い見地からの意見や提言を聴取し、当該計画に反映させるため、南アルプス市の教育振興プラン策定委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、計画に反映すべき事項について検討するものとする。

(組織)

第3条 委員会の委員は、15人以内とする。

2 委員は、学識経験のある者、学校教育関係者、社会教育関係者及び教育委員会が必要と認める者のうちから教育委員会が委嘱し、又は任命する。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱又は任命の日から計画の策定が終了するまでの間とする。

(会長及び副会長)

第5条 委員会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により選任する。

3 会長は、会務を総理し、委員会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、その議長となる。ただし、最初に開かれる会議は、教育長が招集する。

2 会長は、会議の運営上必要があると認めるときは、会議に委員以外の者に出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育委員会事務局教育総務課において処理する。

(その他)

第8条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営等に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

4 南アルプス市の教育振興プラン策定経過

| 日付 | 内容 | 備考 |
|------------------------------------|--|---------|
| 平成 28 年 7 月 8 日 | 教育委員会会議 7 月定例会 ・ 策定委員会要綱の制定 ・ 委員委嘱 ・ 諮問（案）について審議 | |
| 平成 28 年 7 月 19 日 | 第 1 回策定委員会 ・ 諮問 ・ 基本方針、スケジュールについて ・ 国・県の教育振興基本計画について ・ 市の総合計画、教育大綱について ・ 教育をめぐる現状について | 策定委員の委嘱 |
| 平成 28 年 7 月 21 日 | 第 1 回作業部会 ・ 事業ごとの現状分析 ・ 課題の抽出 | 構成員任命 |
| 平成 28 年 8 月 26 日 | 第 2 回作業部会 ・ 素案作成 | |
| 平成 28 年 8 月 29 日 | 第 2 回策定委員会 ・ 素案について | |
| 平成 28 年 9 月 15 日 | 第 3 回作業部会 ・ 素案の見直し | |
| 平成 28 年 10 月 3 日 | 第 3 回策定委員会 ・ 修正素案について | |
| 平成 28 年 10 月 7 日 ～ 10 月 25 日 | 第 4 回作業部会 ・ 修正素案の見直しと原案作成 | |
| 平成 28 年 11 月 8 日 | 教育委員会会議 11 月定例会 ・ 修正素案の提示 | |
| 平成 28 年 12 月 14 日 | 第 4 回策定委員会 ・ 原案について | |
| 平成 29 年 1 月 10 日 | 教育委員会会議 1 月定例会 ・ 原案の提示 | |
| 平成 29 年 2 月 2 日 | 教育委員会会議 2 月定例会 ・ パブリックコメント（案）の提示 | |
| 平成 29 年 2 月 9 日 | 第 5 回策定委員会 ・ パブリックコメント（案）の決定 | |
| 平成 29 年 2 月 28 日 | 市議会への報告 ・ パブリックコメント（案）提出 | |
| 平成 29 年 3 月 1 日 ～ 3 月 31 日 | パブリックコメント実施 | |

| 日付 | 内容 | 備考 |
|------------------|--|----|
| 平成 29 年 4 月 12 日 | 第 6 回策定委員会 ・パブリックコメント対応について ・答申（案）の審議・決定 | 答申 |
| 平成 29 年 4 月 12 日 | パブリックコメント実施結果の公表 | |
| 平成 29 年 4 月 14 日 | 教育委員会会議 4 月定例会 ・プラン策定 | |

5 パブリックコメントの実施概要

(1) パブリックコメントの概要

- 募集期間 : 平成29年3月1日(水)～3月31日(金)
- 閲覧場所 : 教育総務課、市立中央図書館(情報公開コーナー)、市ホームページ
- 意見提出者 : 1人
- 提出意見数 : 1件(郵送 1件)

| No. | 意見の概要 | 市の考え方 |
|-----|---|--|
| 1 | <p><子育て世代の移住・定住化のインセンティブとして「子育てを支える環境をつくる」政策を提案></p> <p>芦安小・芦安中の英会話学習、自然を活用した体験学習などの運営ノウハウを全市幼小中学校に適用するため国家戦略特区を活用する。</p> <p>1 幼小中一貫(園)学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小1ギャップ、中1ギャップをより少なくする ・制度化された「義務教育学校」を一部導入 等 <p>2 英語教育推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル人材の育成 ・「聞く・話す」中心に「読む・書く」を増やす ・幼稚園から遊びと教育を融合したアプローチ ・先進県からの学びによる学力底上げ <p>3 豊かな自然の中での学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然体験活動等のカリキュラムを各学校で実施 ・伊奈ヶ湖周辺にセミナーハウスを整備 <p>4 国際バカロレア (IB)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立巨摩高等学校・白根高等学校が国際バカロレア機構からディプロマ・プログラムの認定を受けることで、幼稚園から高等学校まで全市教育機関で英語教育に取り組む <p>5 外国人の子どもの日本語授業</p> | <p>御意見にある個別の施策について、計画(案)での位置づけは以下のとおりです。</p> <p>なお、御意見全体については、今後事業を推進する際の参考とします。</p> <p>1 「施策4 学びを支える環境の整備」の「施策の柱③幼小中一貫教育の推進」において、小・中連携強化と幼小中一貫校の設置に取り組む旨記載しています。</p> <p>2 「施策1 確かな学力の育成」の「施策の柱②社会情勢に対応した教育」において、コミュニケーション能力の育成と英語の語学力向上を図る旨記載しています。</p> <p>3 「施策2 豊かな心の育成」の「施策の柱①ふるさと教育の推進」において、各学校で自然体験活動や地域の特色を活かした農業等体験活動を行う旨記載しています。</p> <p>なお、伊奈ヶ湖周辺施設については教育委員会所管の事業ではないため計画(案)には記載していませんが、自然及び森林環境教育の場とするため、別途整備を行う予定です。</p> <p>4 県立高等学校については教育委員会所管の学校ではないため計画(案)には記載していませんが、「施策1 確かな学力の育成」の「施策の柱②社会情勢に対応した教育」を推進する際の参考とします。</p> <p>5 御意見を受けて「施策1 確かな学力の育成」の施策の柱「②社会情勢に対応した教育」に、外国籍児童生徒の日本語指導等について記載しました。</p> |

6 南アルプス市生涯学習に関する市民アンケート結果

(1) 調査の目的

「生涯学習推進プラン H18～H27」10年間の検証及び「教育振興基本計画」の施策立案の基礎資料とする。

(2) 調査仕様

| 仕様項目 | 仕様 |
|-------|---|
| 調査地域 | 南アルプス市全域 |
| 調査対象者 | 市内に居住する15才以上の男女 |
| 調査基準日 | 平成28年1月1日 |
| 標本数 | 1,500人 |
| 抽出方法 | 1,500人／層化無作為抽出 ※年齢階層（15-24才・25-39才・40-54才・55才以上） ごとに基準日における人口と回答率を考慮して標本数を配分し、住民基本台帳から無作為抽出 |
| 調査方法 | 郵送による配布・回収 |
| 調査期間 | 平成28年2月2日から平成28年2月22日 |

(3) 回収結果

有効回答 515 件（回収率 34.3%）

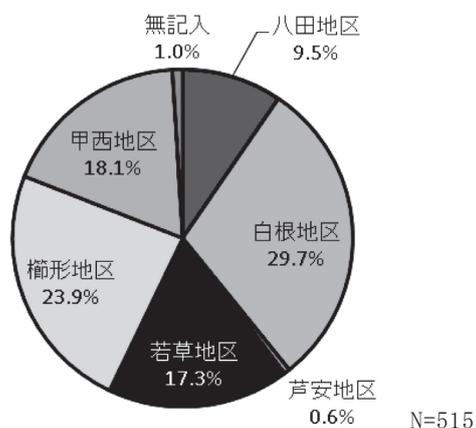
※表やグラフの構成比は、項目ごとに小数点以下第2位を四捨五入しているため、それらの合計が100.0%にならない場合がある。

(4) アンケート結果

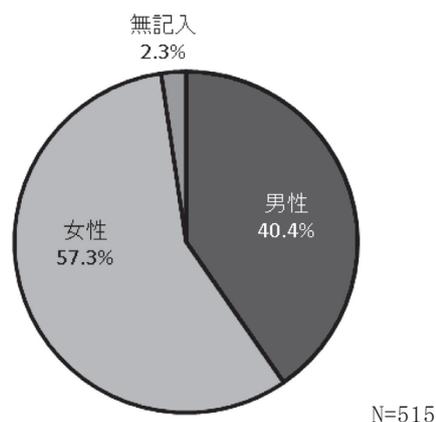
1、ご自身について

問1 あなたは、どの地区にお住まいですか。

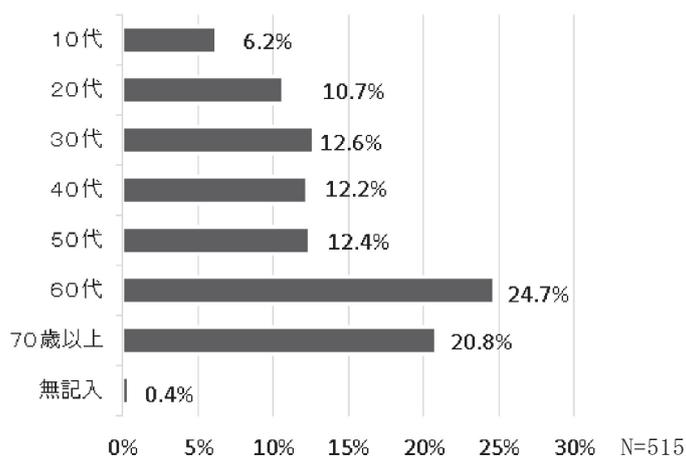
・人口割合に応じた回答が得られた。



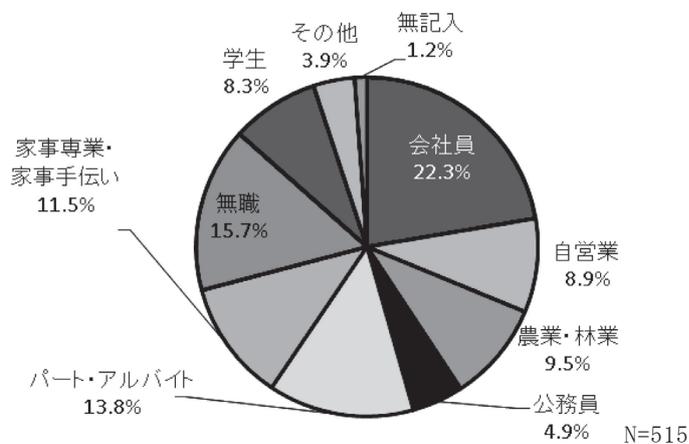
問2 あなたの性別はどちらですか。



問3 あなたの年齢はおいくつですか。

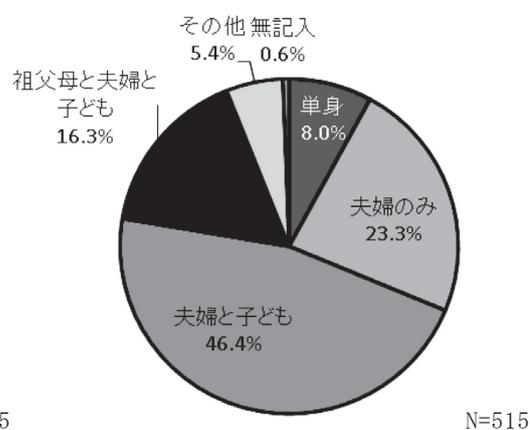


問4 あなたの職業を教えてください。



その他：団体職員、お笑い芸人

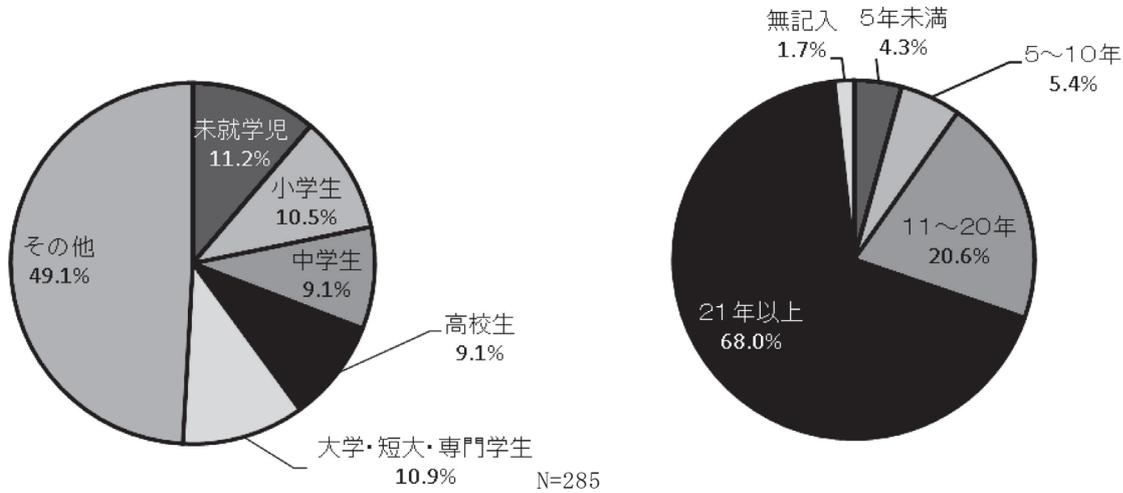
問5 家族構成はどちらですか。



問6 子どもの年齢はおいくつですか。

・60代以上からの回答が多いためか、学生以外の子どもがいる世帯が多い。

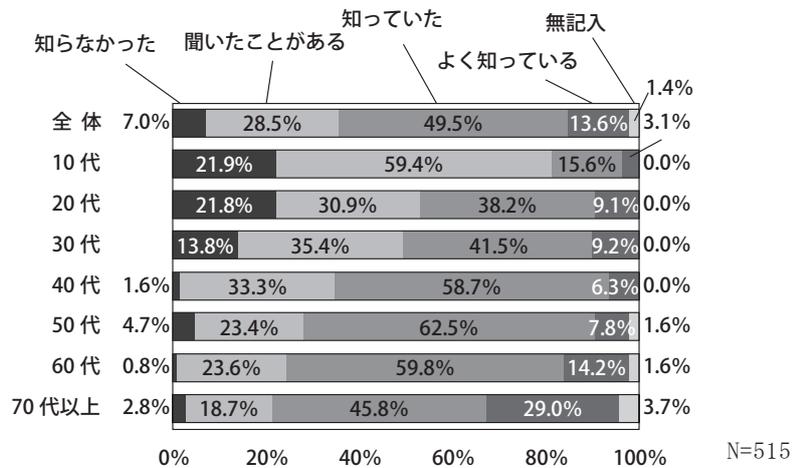
※年齢が最も上の子どもで集計



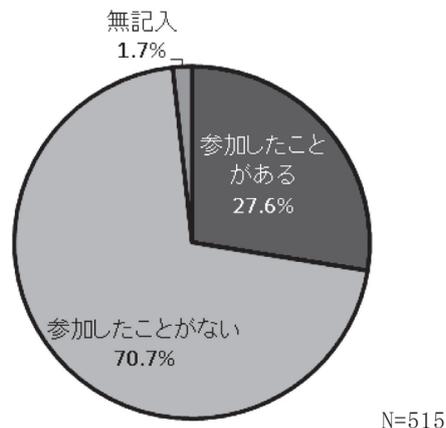
2、生涯学習について

問8 あなたは、生涯学習という言葉を知っていましたか。

・年代が上がるにつれて「知っている」と回答する割合が高くなっている。

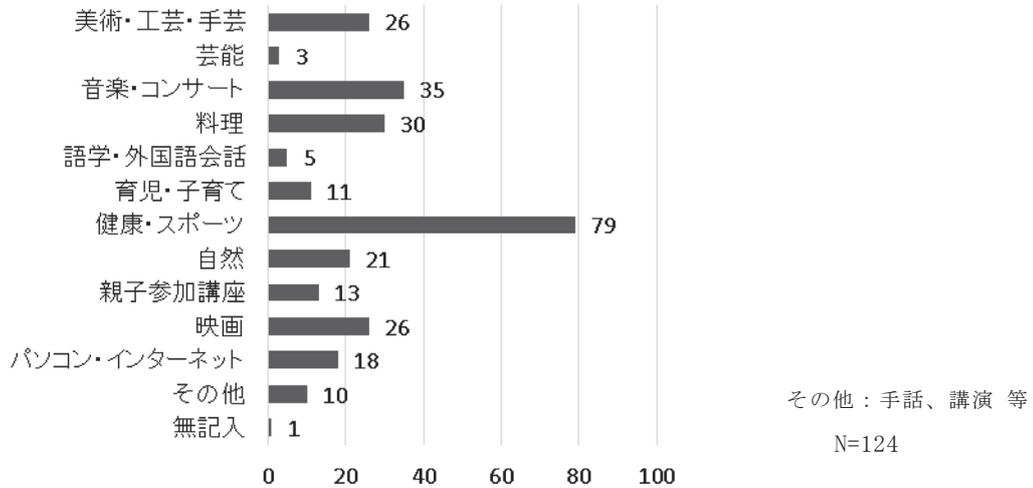


問9 あなたは、過去に市が主催する生涯学習講座に参加されたことがありますか。



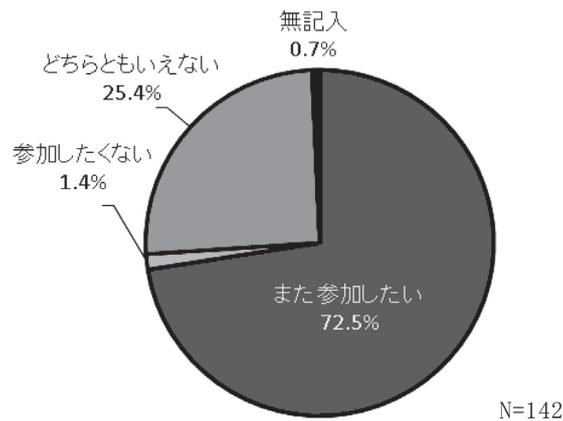
問9で、「参加したことがある」と回答した方におたずねします。

問9-1 どのような内容の生涯学習講座に参加されましたか。(複数回答可)



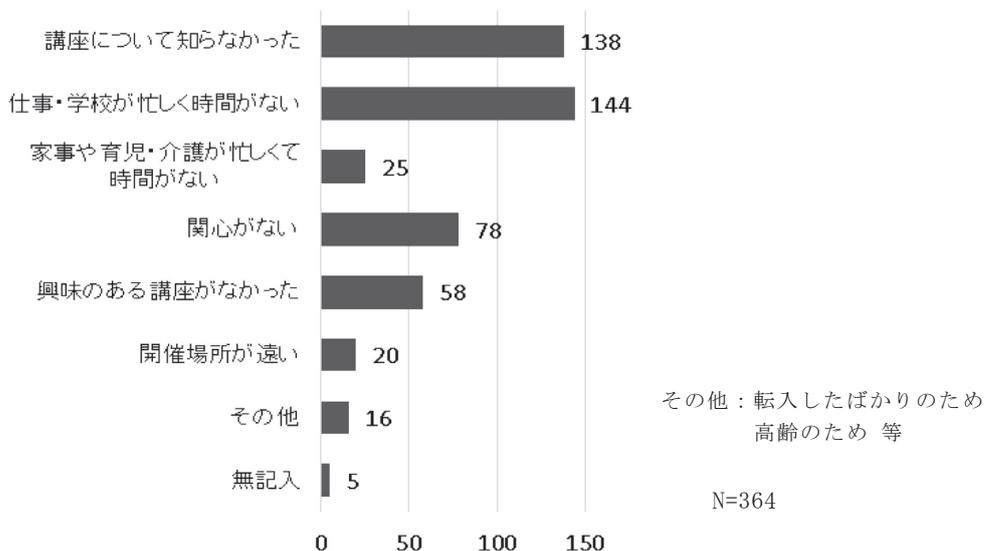
問9で、「参加したことがある」と回答した方におたずねします。

問9-2 今後も市が主催する生涯学習講座に参加したいですか。



問9で、「参加したことがない」と回答した方におたずねします。

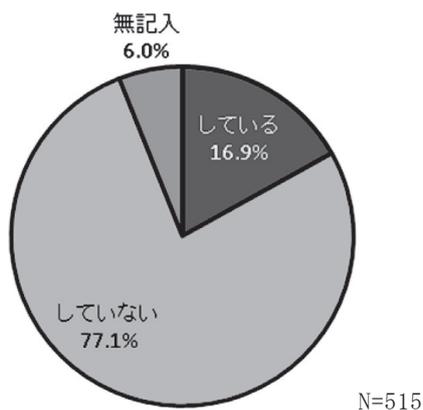
問9-3 市が主催する生涯学習講座に参加していない理由は何ですか。(複数回答可)



問 10 あなたは、どのような生涯学習講座に興味がありますか。できるだけ具体的にご記入ください。（自由記述）

- ・スポーツや健康に関するもの、料理や手芸・工芸等趣味的な講座への要望が多い。
- また、子どもや孫と一緒に参加ができる講座への要望もある。

問 11 あなたは、市が主催する生涯学習講座以外に、習い事、学習をしていますか。

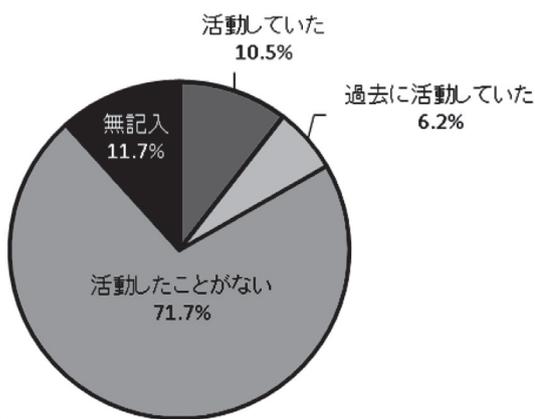


問 11 で、「している」と回答した方におたずねします。

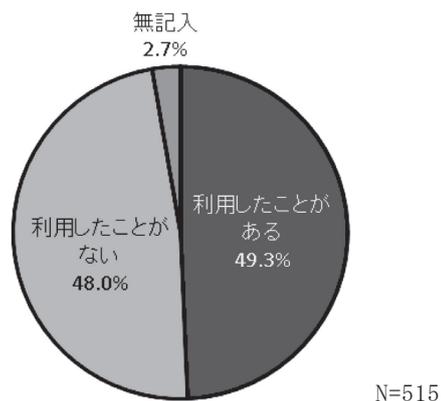
問 11-1 どのような事をしていますか。具体的にご記入ください。

- ・健康・スポーツに関する習い事が多く、その他手芸や音楽の習い事をしているという回答が多い。

問 12 あなたは、この1年間で自主学習グループで活動をしていましたか。

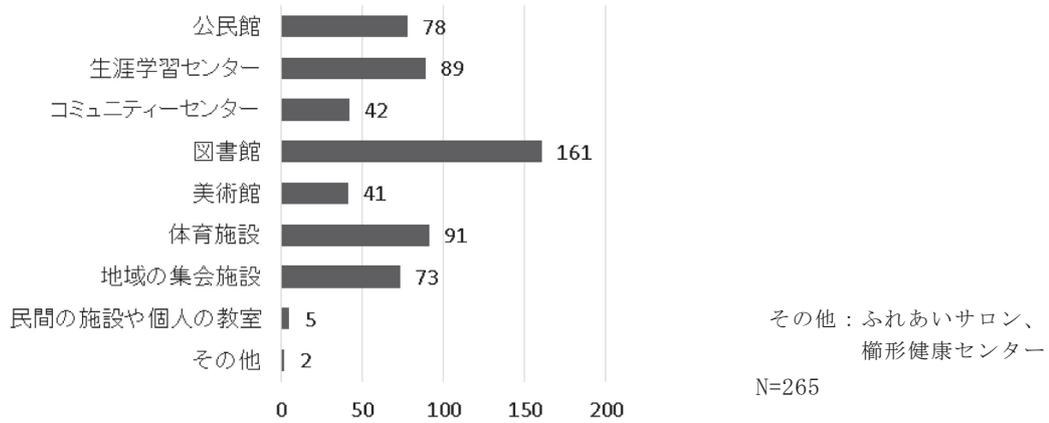


問 13 あなたは、市内の生涯学習施設を利用したことがありますか。



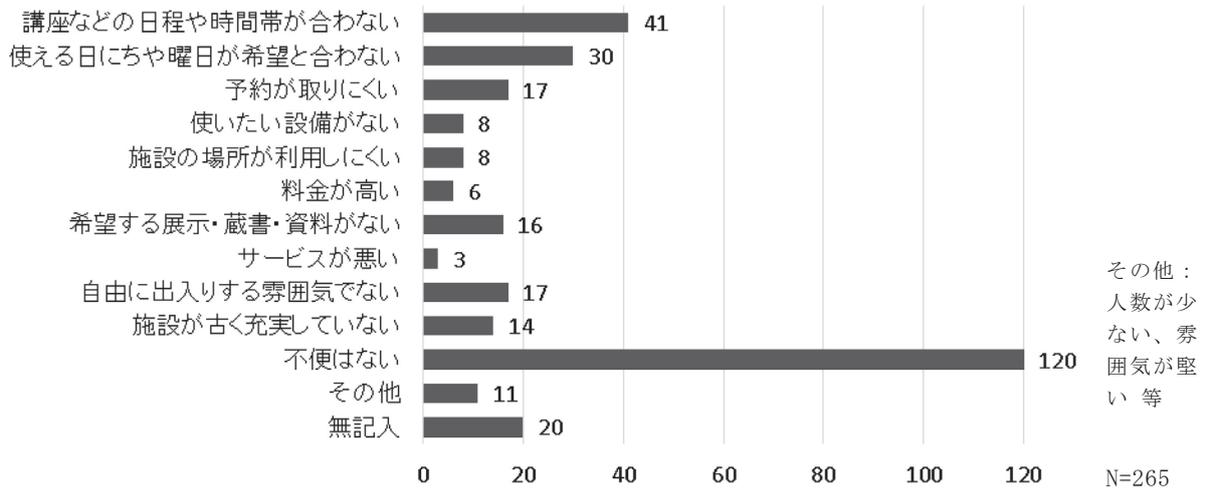
問 13 で、「利用したことがある」と回答した方におたずねします。

問 13-1 どのような施設ですか。(複数回答可)



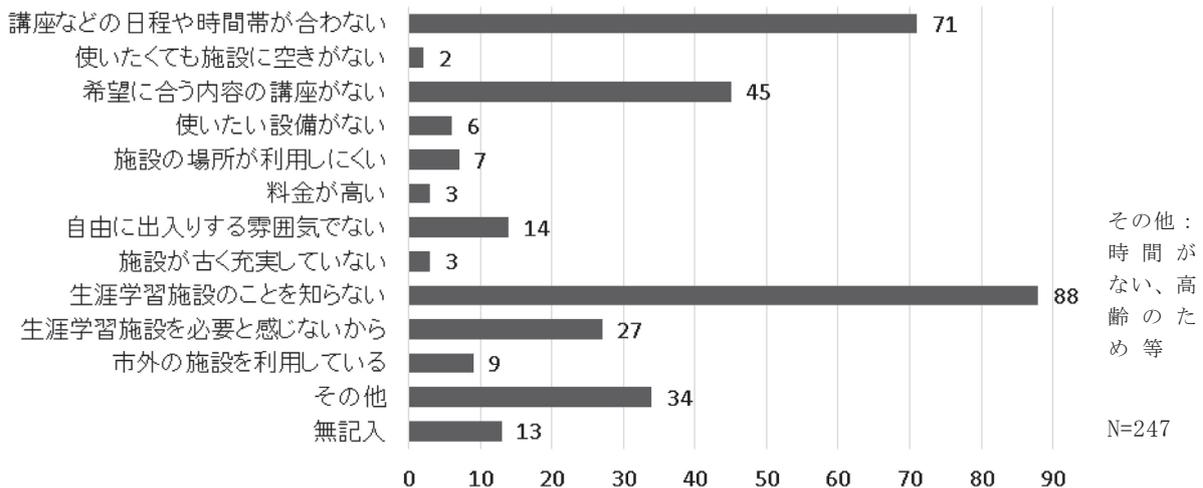
問 13 で、「利用したことがある」と回答した方におたずねします。

問 13-2 市の生涯学習施設で不便を感じたことがありますか。(複数回答可)

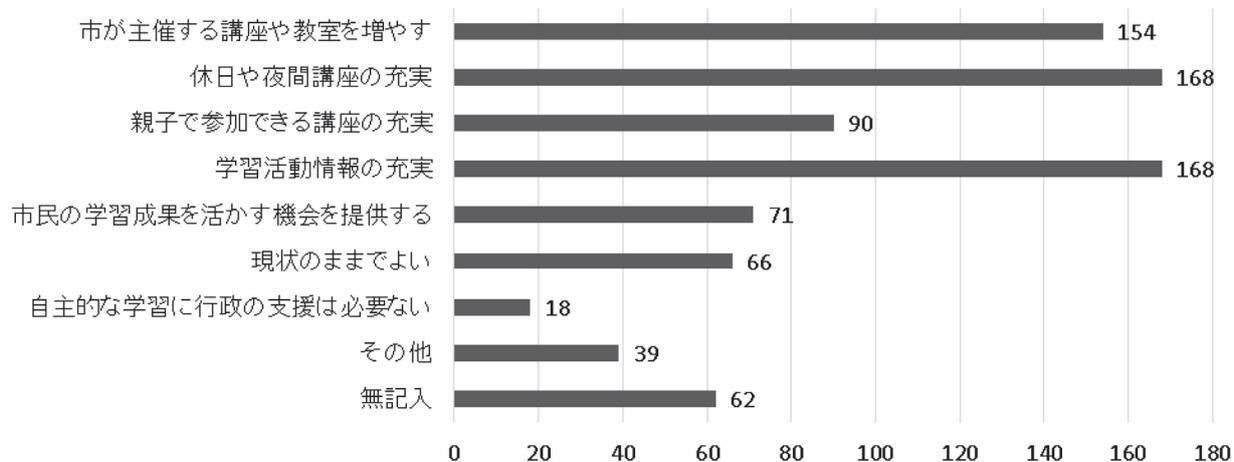


問 13 で、「利用したことがない」と回答した方におたずねします。

問 13-3 市の生涯学習施設を利用したことがない理由は何ですか。(複数回答可)

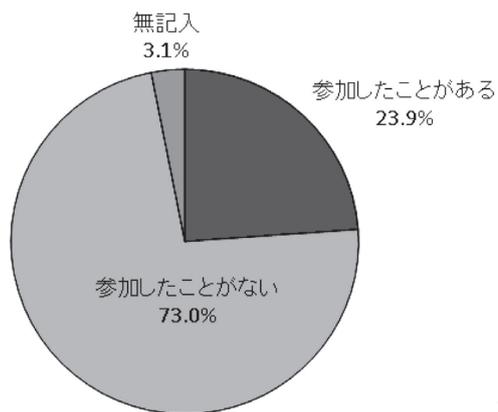


問 14 あなたは、今後市民の学習活動を充実させるためには何が必要だと思いますか。
(3つまで回答可)



その他：周知の仕方を工夫する、わからない 等

問 15 あなたは、地区が主催する公民館活動に参加したことがありますか。

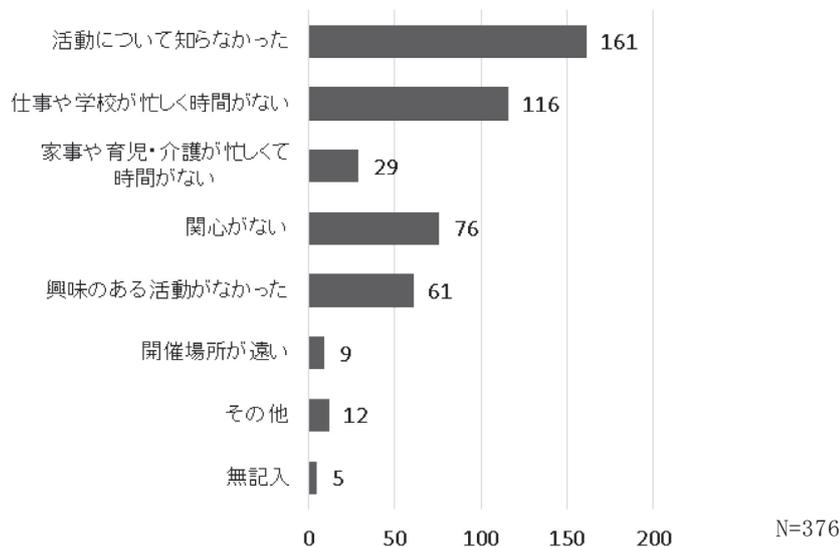


N=515

問 15 で、「参加したことがない」と回答した方におたずねします。

問 15-1 参加していない理由は何ですか。(複数回答可)

・「活動について知らなかった」という回答が最も多く、活動の認知度が低いと思われる。

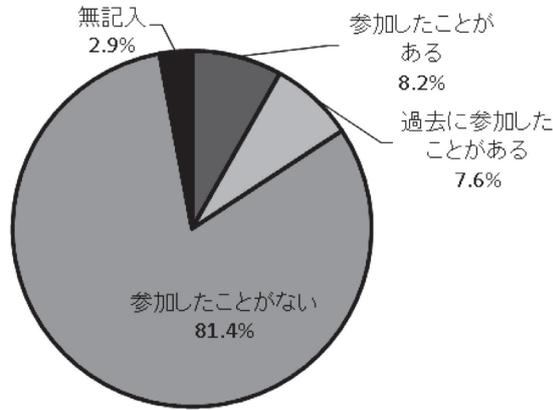


N=376

問 16 あなたがお住まいの地区の活動で、生涯学習講座に取り上げてもらいたいテーマをご記入ください。
(自由記述)

- ・健康・スポーツに関する講座や地域の歴史に関する講座を希望する回答が多い。
- ・その他、介護や福祉等暮らし関連した講座や、手芸等趣味の講座希望があった。

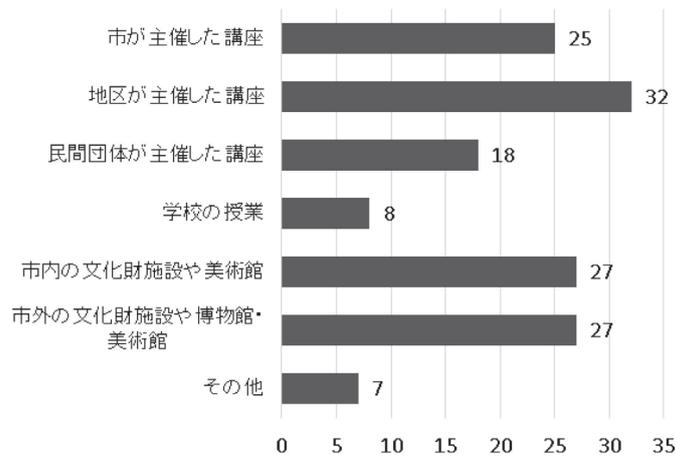
問 17 あなたは、この1年間でふるさとの歴史や伝統を学ぶ講座、講演、ワークショップ等に参加したことがありますか。



N=515

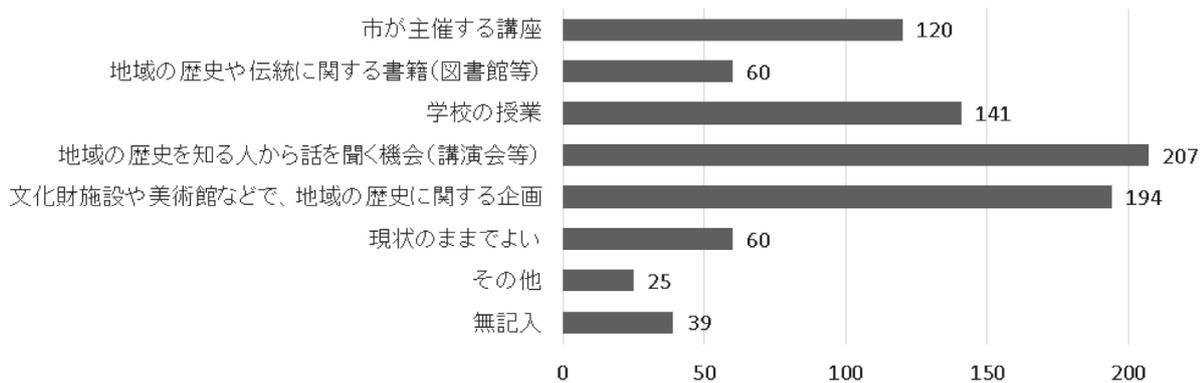
問 17で、「参加したことがある」「過去に参加したことがある」と回答した方におたずねします。

問 17-1 あなたがふるさとの歴史や伝統を学んだのはどのような場ですか。(複数回答可)



N=81

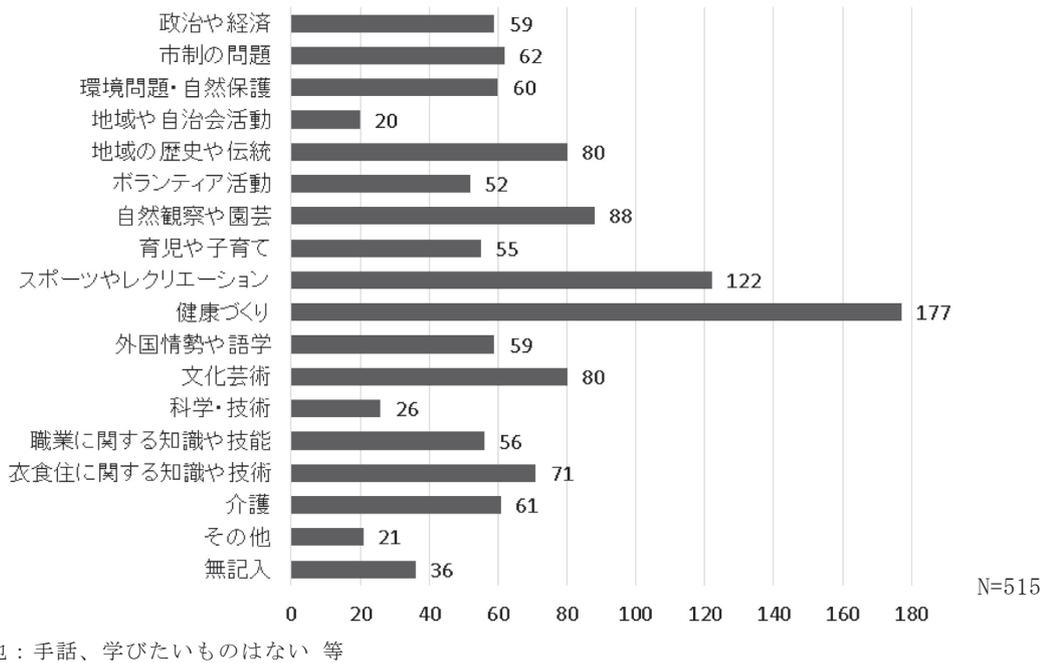
問 18 あなたは、今後ふるさとの歴史や伝統を学ぶ活動を充実させるためには、何を増やすことが必要だと思いますか。(3つまで回答可)



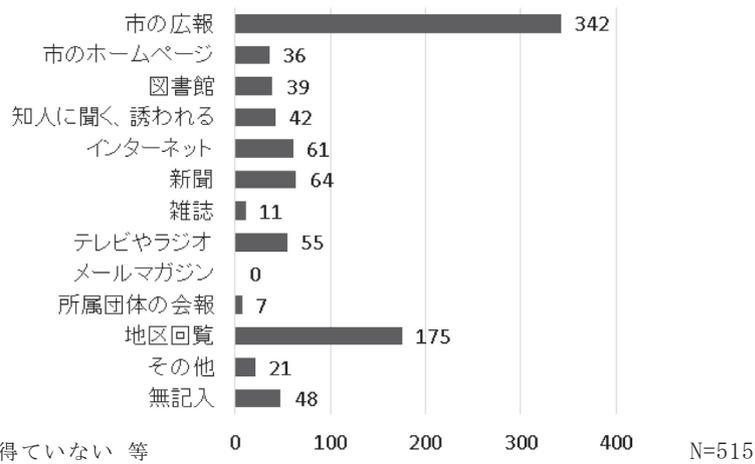
その他：活動を広める、わからない 等

N=515

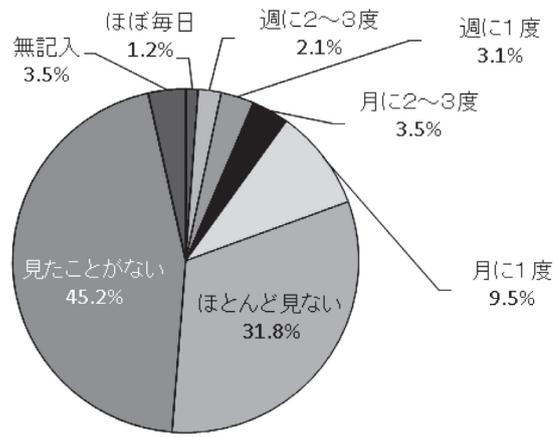
問 19 あなたが、今後学びたいことは何ですか。（3つまで回答可）



問 20 あなたは、生涯学習に関する情報をどこから得ていますか。（複数回答可）

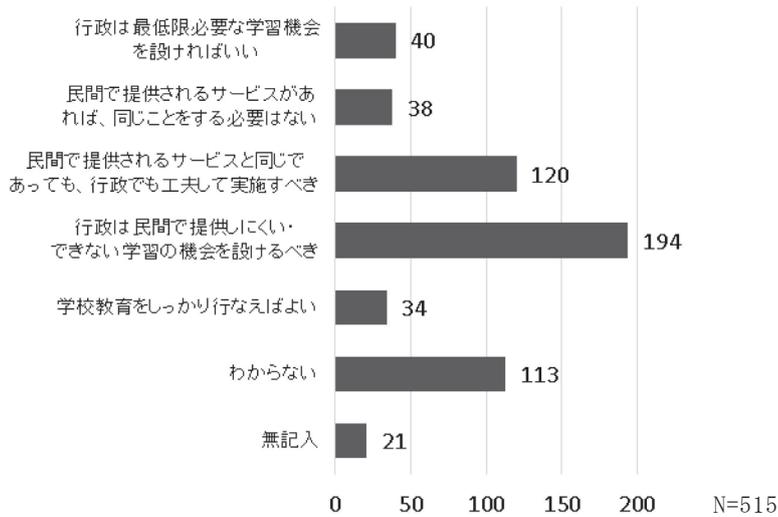


問 21 あなたは、市のホームページをご覧になりますか。

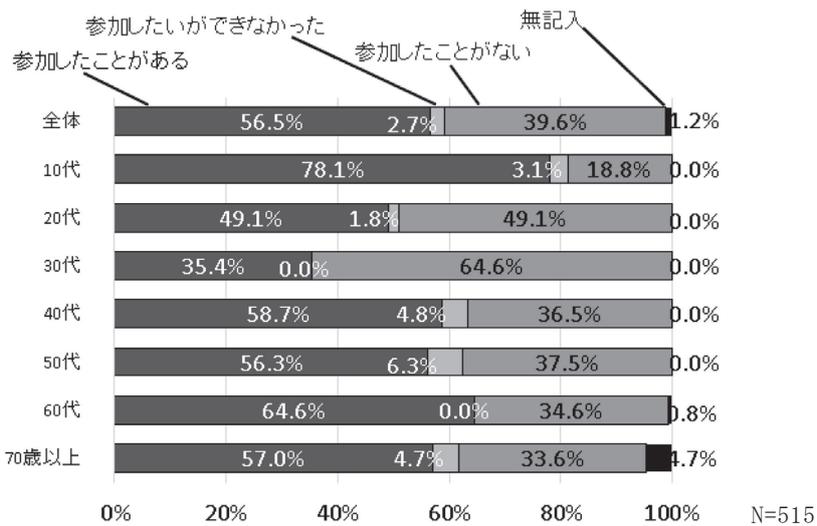


N=515

問 22 あなたは、生涯学習に関する施策を市が進める場合、行政と民間の役割についてどのように考えますか。

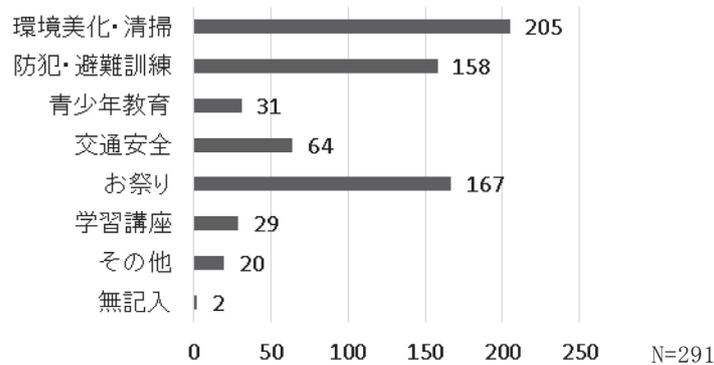


問 23 あなたは、自治会や学校が主催する地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。



問 23 で、「参加したことがある」と回答した方におたずねします。

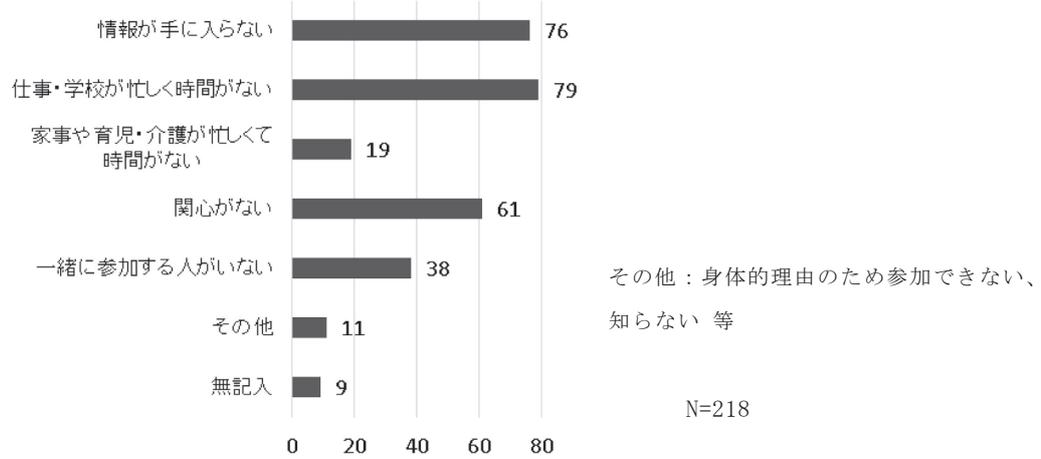
問 23-1 どのような分野の活動に参加しましたか。（複数回答可）



その他：ボランティア、地区運動会

問 23 で、「参加したいができなかった」「参加したことがない」と回答した方におたずねします。

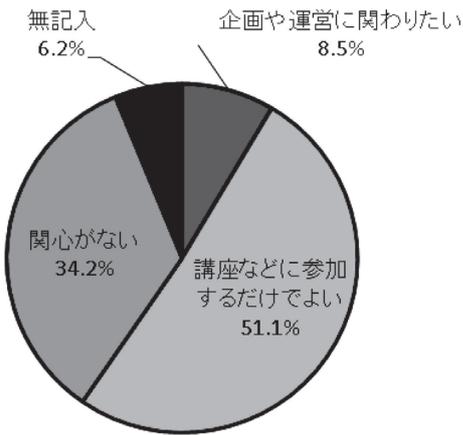
問 23-2 参加していない・できない理由は何ですか。（複数回答可）



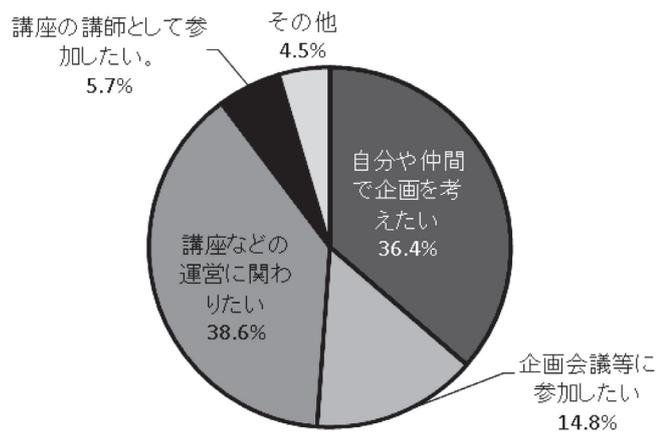
問 24 あなたは、生涯学習の企画や運営に関わってみたいと思いますか。

問 24 で、「企画や運営に関わりたい」と回答した方におたずねします。

問 24-1 生涯学習の企画や運営にどのように関わりたいと思いますか。

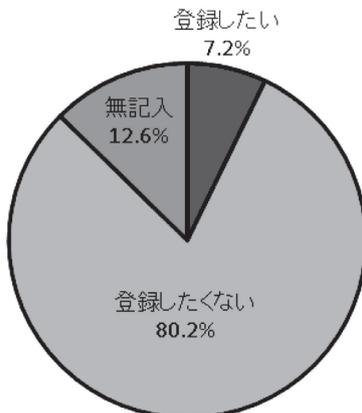


N=515



N=44

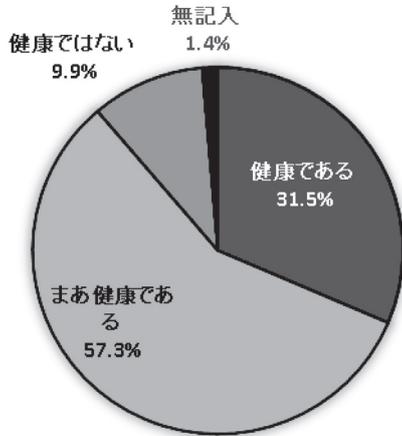
問 25 市では生涯学習講座の人材バンクへの登録募集を行っています。あなたは登録をしたいと思いますか。



N=515

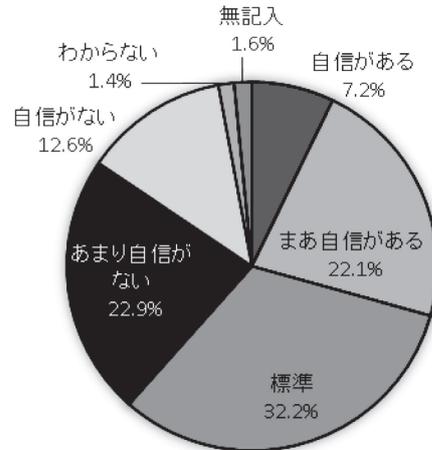
3、運動・スポーツについて

問 27 あなたの現在の健康状態について教えてください。



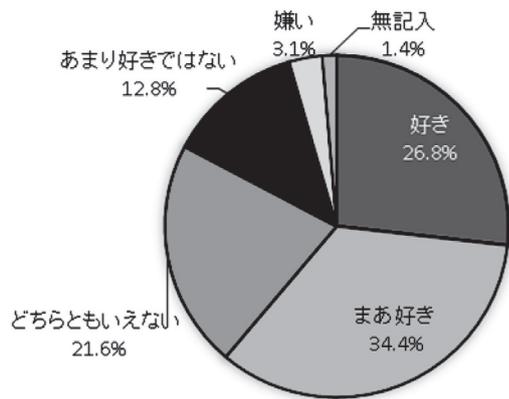
N=515

問 28 あなたは、現在の体力に自信がありますか。



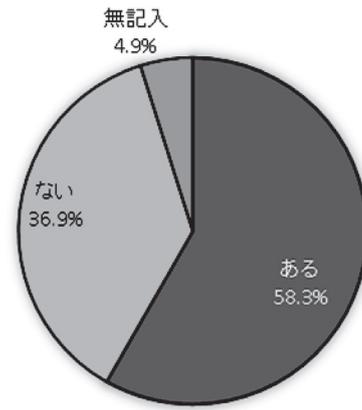
N=515

問 29 あなたは、運動やスポーツで体を動かすことが好きですか。



N=515

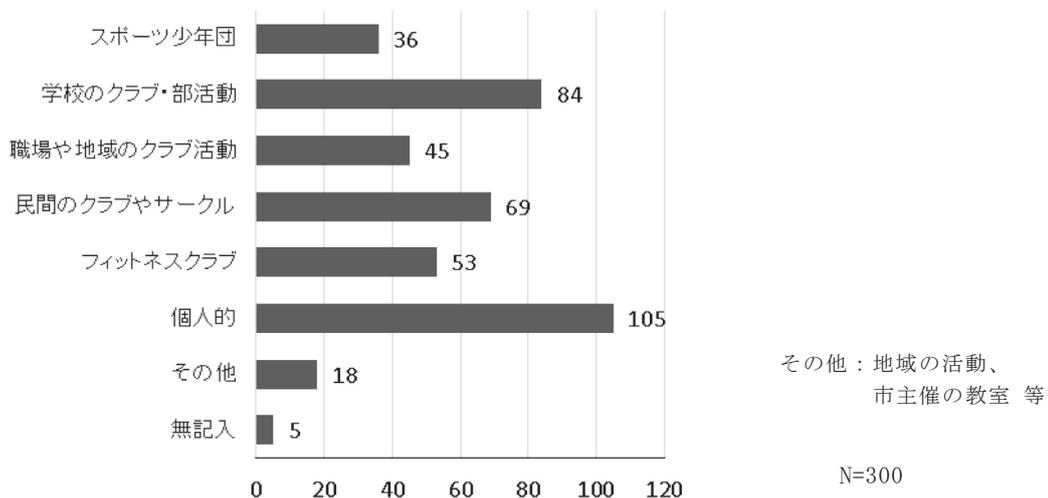
問 30 あなたは、これまで学校の体育の授業以外に継続的に運動やスポーツを行ったことがありますか。



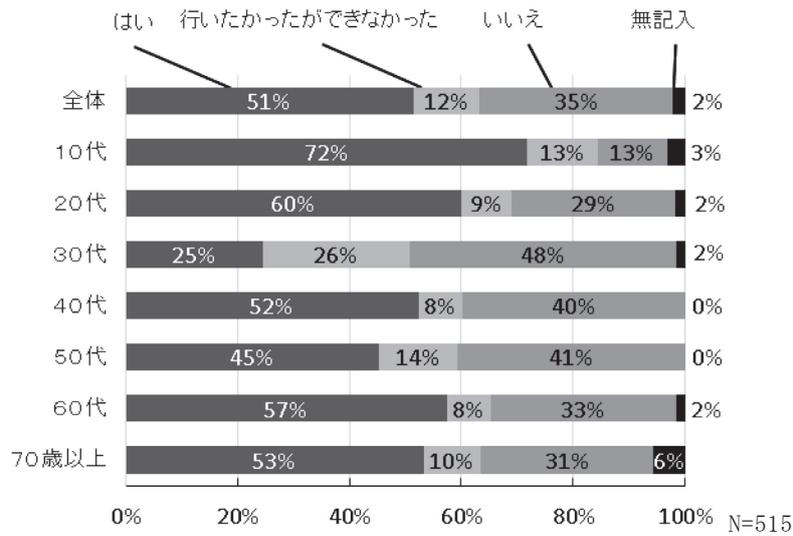
N=515

問 30 で、「ある」とお答えの方におたずねします。

問 30-1 それはどのようなものですか。（複数回答可）

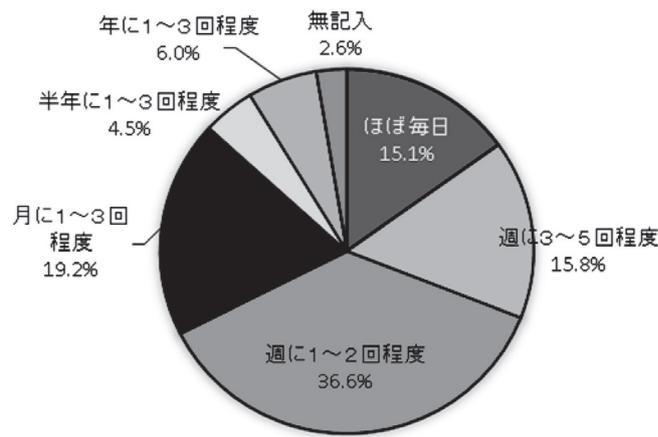


問 31 あなたは、この1年間に運動・スポーツを行いましたか。

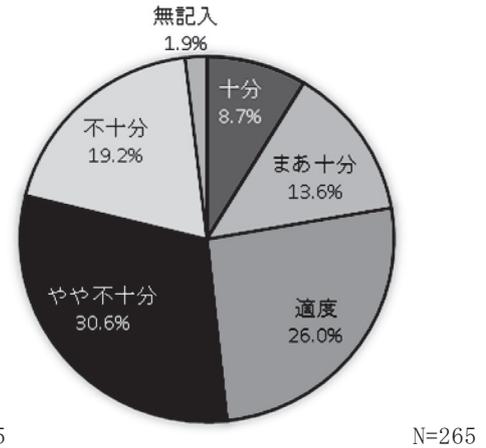


問 31 で、「ある」とお答えの方におたずねします。

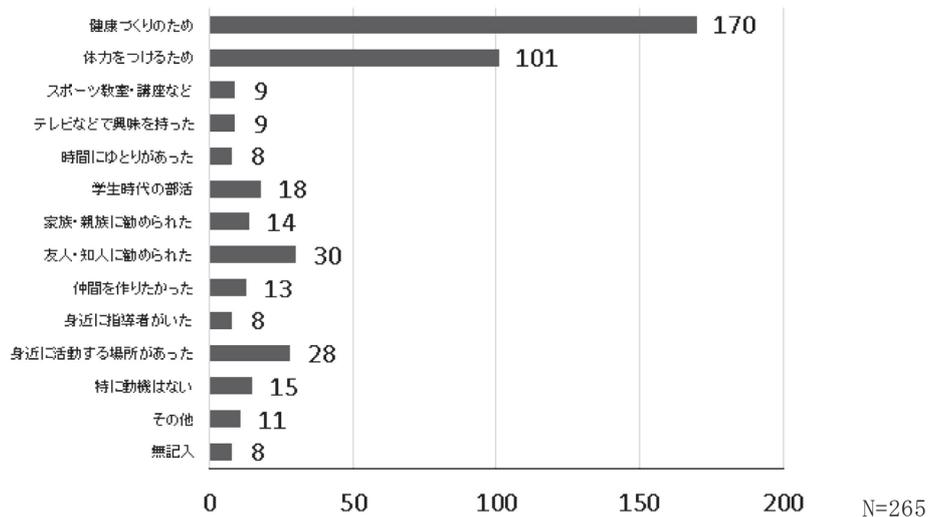
問 31-1 どの程度の頻度で運動・スポーツをしていますか。



問 31-2 あなたの生活の中で、運動・スポーツに費やす時間は十分だと思いますか。

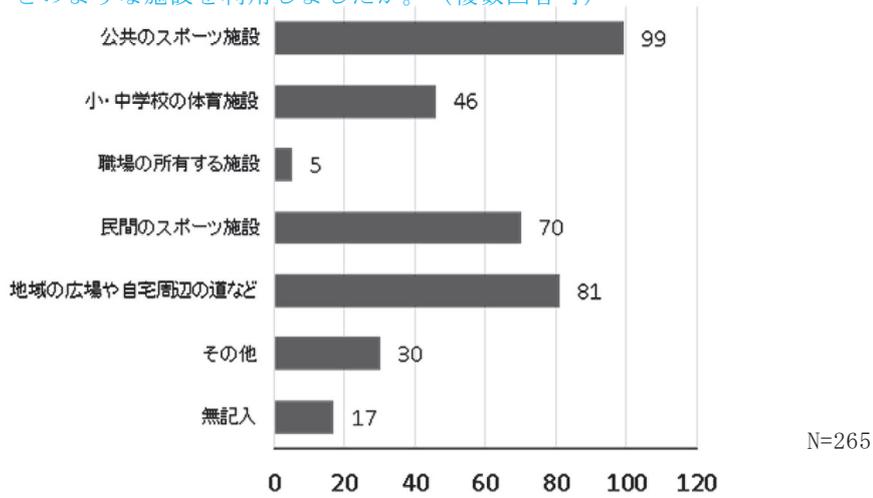


問 31-3 あなたが運動・スポーツをはじめた動機は何ですか。(2つまで選択可)



問 31 で、「ある」とお答えの方におたずねします。

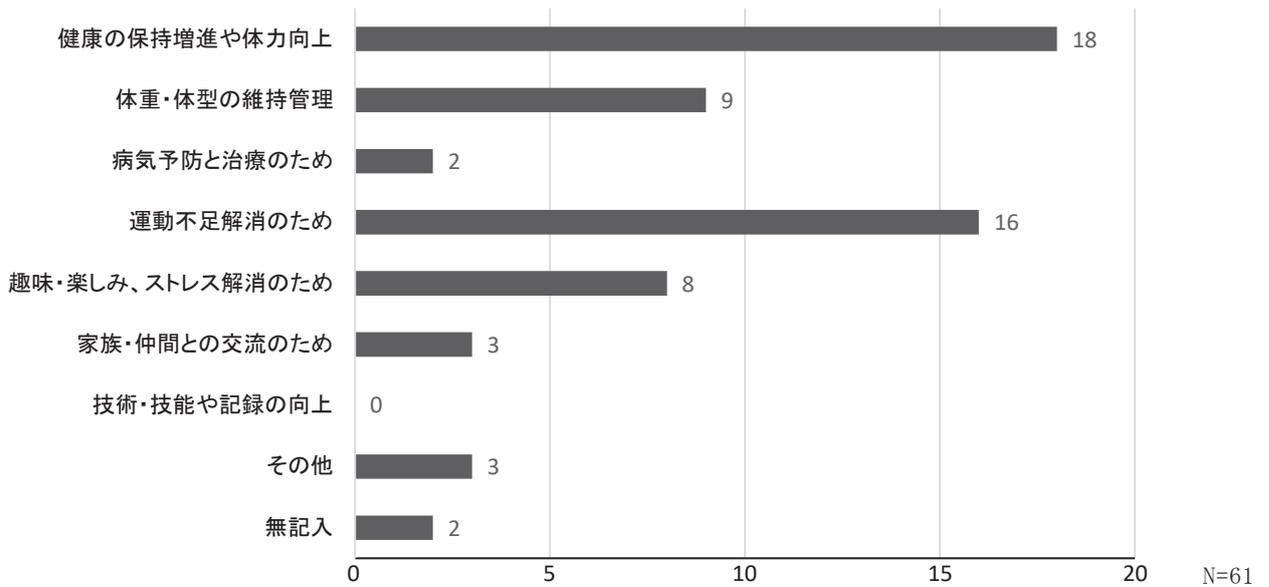
問 31-4 どのような施設を利用しましたか。（複数回答可）



問 31 で、「行いたかったができなかった」とお答えの方におたずねします。

問 31-5 行いたいと思った主な理由は何ですか。

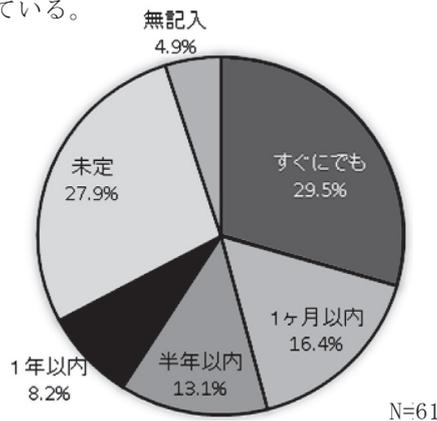
・健康の保持増進や運動不足解消等、身体の健康のための理由が半数以上となった。



問 31 で、「行いたかったができなかった」とお答えの方におたずねします。

問 31-6 今後いつ頃までに運動・スポーツを行いたいと思いますか。

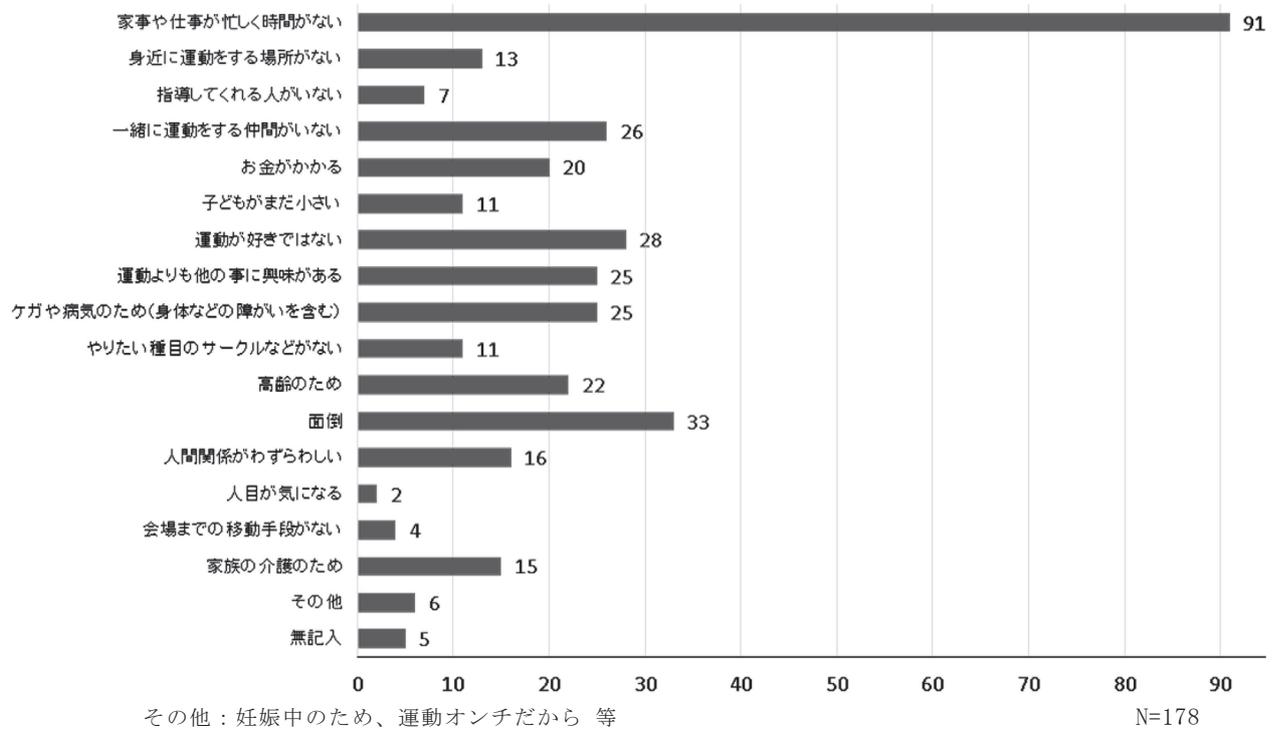
・約 70%が 1 年以内に行いたいと思っている。



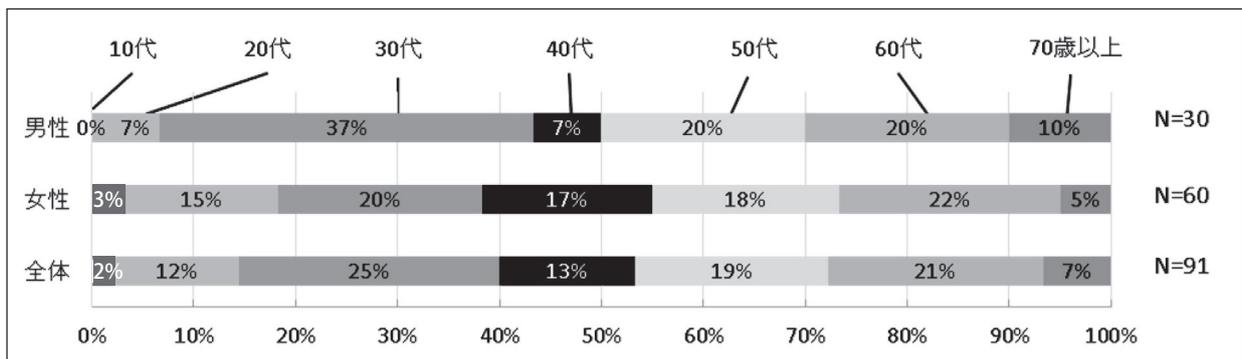
問 30 で、「ない」とお答えの方におたずねします。

問 31-7 あなたが運動・スポーツを行わない主な理由は何ですか。（3つまで回答可）

- ・「家事や仕事で忙しく時間がない」との回答が突出して多い。
- ・「運動が好きではない」「面倒」等、運動自体に否定的な回答も比較的多い。

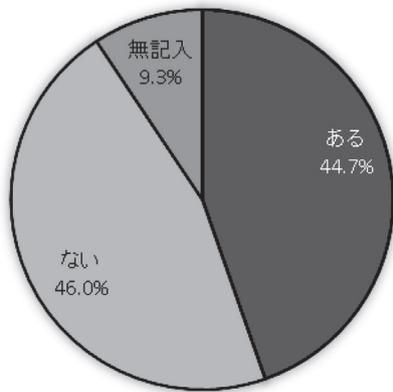


※「家事や仕事が忙しく時間がない」の回答内訳



問 32 あなたは、地域のスポーツ・レクリエーション行事に参加したことがありますか。

- ・「ある」と「ない」がほぼ同数という結果となった。
- ・参加した行事では、グラウンドゴルフや運動会等が多かった。
- ・参加したことがない理由としては、情報がない等の外的な要因と、個人でやりたい等の内的な要因が見られた。



N=515

※回答例（自由記述）

「ある」とお答えの方。それはどのような行事ですか。

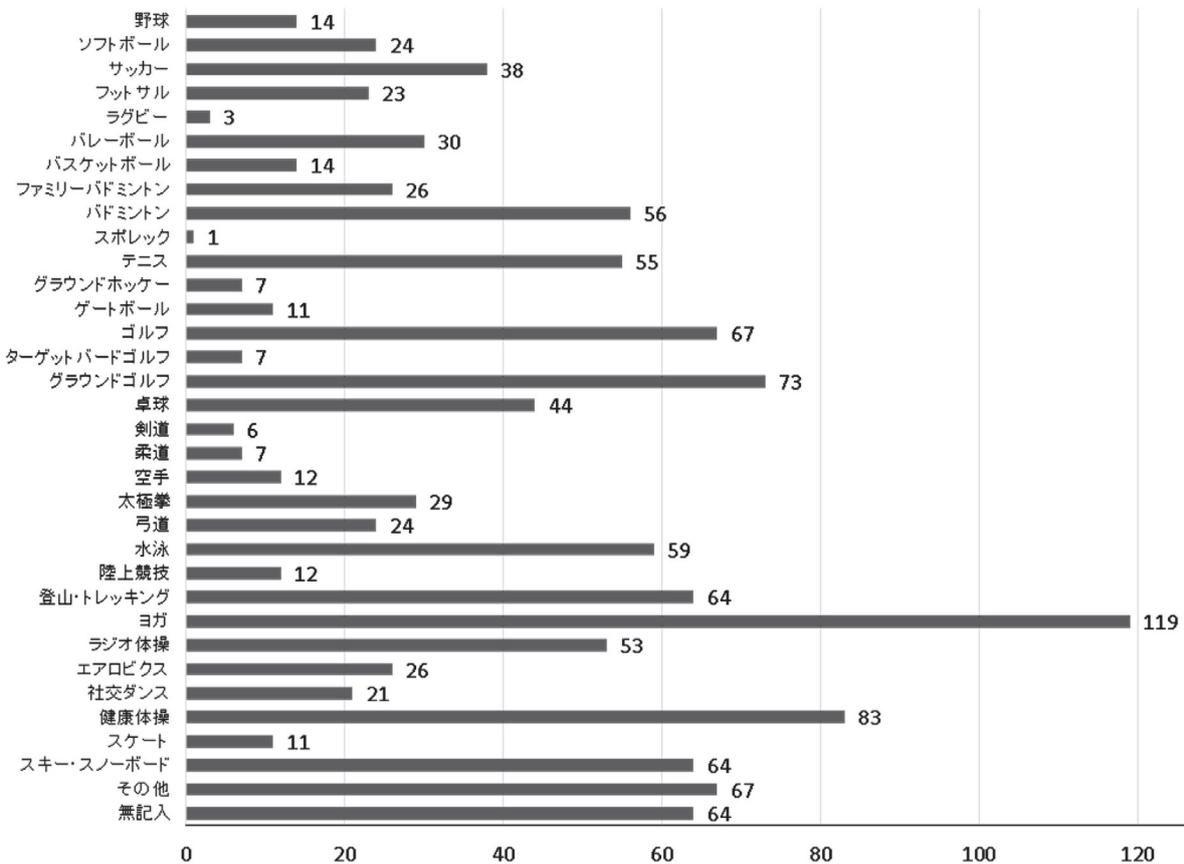
- ・グラウンドゴルフ
 - ・地区の運動会（体育祭）
 - ・（ソフト）バレーボール
 - ・ソフトボール
 - ・子どもクラブ関係
 - ・ウォーキング
- 等

「ない」とお答えの方。その理由もお答えください。

- ・情報がない
 - ・時間が合わない
 - ・興味がない
 - ・参加方法がわからない
 - ・やりたいスポーツがない
 - ・身体が不自由
 - ・一緒に参加する人がいない
 - ・個人でやりたい
- 等

問 33 あなたが今後も続けたい、または、始めてみたい運動・スポーツは何ですか。（5つまで選択可）

- ・ヨガは全体の回答数も多く、各年代でも平均的に高いことから、年齢を問わず人気があるといえる。
- ・健康体操は回答数は多いが、高齢層に回答が偏っている。



その他：ウォーキング、合気道、ダンス、ボーリング、ボクシング 等

N=515

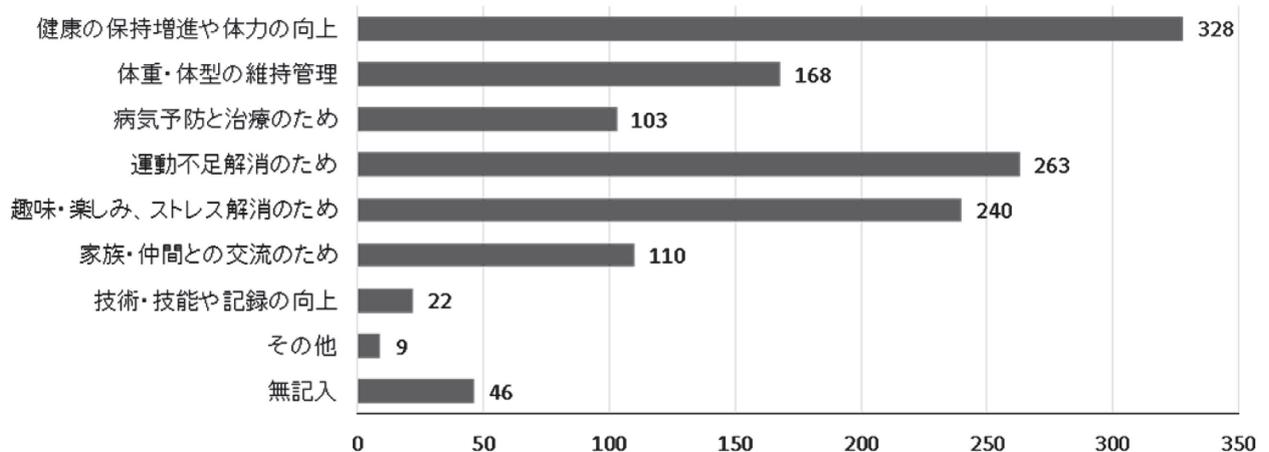
※無記入含まず

| 種目 | 年齢 | | | | | | | 平均 |
|------------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70歳以上 | |
| ヨガ | 5.1% | 7.5% | 17.4% | 14.0% | 14.5% | 8.3% | 2.6% | 9.9% |
| 健康体操 | 0.9% | 3.1% | 3.5% | 3.7% | 9.7% | 11.4% | 11.5% | 6.3% |
| グラウンドゴルフ | 0.9% | 0.0% | 0.6% | 1.8% | 4.1% | 8.7% | 20.4% | 5.2% |
| ゴルフ | 1.7% | 3.8% | 2.9% | 7.3% | 8.3% | 7.2% | 5.2% | 5.2% |
| 登山・トレッキング | 2.6% | 5.6% | 5.8% | 7.3% | 6.9% | 5.7% | 2.6% | 5.2% |
| スキー・スノーボード | 7.7% | 8.1% | 8.1% | 8.5% | 4.8% | 2.7% | 0.0% | 5.7% |
| 水泳 | 2.6% | 4.4% | 8.7% | 6.7% | 4.1% | 3.8% | 3.7% | 4.9% |
| バドミントン | 15.4% | 7.5% | 4.1% | 4.3% | 4.8% | 1.5% | 0.5% | 5.4% |
| テニス | 10.3% | 8.8% | 5.8% | 4.9% | 2.8% | 1.9% | 1.0% | 5.1% |
| ラジオ体操 | 0.0% | 1.3% | 2.3% | 0.6% | 4.1% | 8.0% | 9.9% | 3.7% |

網掛け：回答率8%以上

問 34 あなたが今後も続けたい、または、始めようと思う理由は何ですか。（複数回答可）

・健康の保持増進や運動不足解消等、身体の健康のための理由が多数を占めており次いで、趣味や楽しみを理由とした回答も多い。



N=515

7 成果指標一覧

基本目標 1 未来を切り拓く学校教育の充実

■ 施策 1 確かな学力の育成

| 指標 | 現況値 | 目標値 |
|---|-------------------------|--------------------|
| | 平成 27 年度 | 平成 33 年度 |
| 全国学力・学習状況調査の平均正答率 (小6 国語・算数の知識・活用) (中3 国語・数学の知識・活用) | 8 項目中 6 項目で 全国平均と同程度 | 全ての項目で全国 平均と同程度 |
| 授業が「分かる」と回答した児童・生徒の割合 | 小：94.5% 中：82.1% | 小：95.0% 中：82.6% |
| 家庭学習時間が平日 小学校：30 分超 中学校：1 時間超 の児童・生徒の割合 | 小：86.8% 中：58.4% | 小：94% 中：80% |
| 学びの質を高める授業づくり研究推進校の割合 | 小中 18.1% (4 校) | 小中 59.0% (13 校) |

■ 施策 2 豊かな心の育成

| 指標 | 現況値 | 目標値 |
|--------------------------------|--------------------|--------------------|
| | 平成 27 年度 | 平成 33 年度 |
| 礼法を取り入れた授業を行っている学校の割合 | 小中 100% | 小中 100% |
| 市の文化財・普及教育事業を利用した授業を行っている学校の割合 | 小中 77% | 小中 100% |
| 道徳の授業を地域住民や保護者に公開している学校の割合 | 小中 100% | 小中 100% |
| 学校生活が「楽しい」と回答した児童・生徒の割合 | 小：92.4% 中：89.1% | 小：92.9% 中：89.6% |
| 不登校率 | 小：0.07% 中：2.57% | 小：0.05% 中：2.50% |
| 認知されたいじめの解消率 | 小中 91.2% | 小中 96.2% |

■ 施策3 健やかな体の育成

| 指標 | 現況値 | 目標値 |
|---|------------------------|--------------------|
| | 平成 27 年度 | 平成 33 年度 |
| 体力・運動能力の状況 (8種目の体力合計点 小5) (8種目の体力合計点 中2) | 小：52.55 点 中：48.55 点 | 小：55 点 中：50 点 |
| 市の食に関する指導年間計画に基づいた年間指導計画により、栄養教諭等による授業を実践している学校の数 | 0 校 | 22 校 |
| 朝食を毎日食べている児童・生徒の割合 | 小：92.8% 中：86.9% | 小：95% 中：90% |
| 1日の平均睡眠時間が 小学校：8時間以上 中学校：6時間以上 の児童・生徒の割合 | 小：68.3% 中：91.4% | 小：84.2% 中：95.7% |

■ 施策4 学びを支える環境の整備

| 指標 | 現況値 | 目標値 |
|-------------------------------------|----------|----------|
| | 平成 27 年度 | 平成 33 年度 |
| 教職員を対象とした研修会の実施回数 | 8 回 | 8 回 |
| 小中一貫校 | 0 校 | 2 校 |
| 学校関係者評価委員・学校評議員制度により地域と連携を行っている学校の数 | 小中 22 校 | 小中 22 校 |

基本目標2 郷土の歴史・伝統文化の振興

■ 施策5 地域文化の継承とふるさと教育の推進

| 指標 | 現況値 | 目標値 |
|--|----------|----------|
| | 平成 27 年度 | 平成 33 年度 |
| 市の文化財や伝統文化を地域の宝として次世代に伝えていくことは重要と回答した市民の割合 | 83.9% | 93% |
| 文化財や伝統芸能の保護や継承活動に満足していると回答した市民の割合 | 35.9% | 39.5% |
| 過去1年間に市内の史跡探索や伝統芸能の体験活動を行ったと答えた市民の割合 | 14.2% | 15.5% |

基本目標 3**生涯にわたる学習環境の整備・充実****■ 施策 6 生涯学習の推進**

| 指標 | 現況値 | 目標値 |
|---------------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| | 平成 27 年度 | 平成 33 年度 |
| 趣味や娯楽なども含め、生涯学習活動を行っている と回答した市民の割合 | 33.1% | 41% |
| 図書館レファレンスサービス件数 | 5,488 件 | 5,927 件 |
| 市民一人当たりの図書館資料年間貸出点数 | 5.13 点 | 5.54 点 |
| 図書館所蔵資料数 | 346,589 点 | 374,316 点 |
| 美術館の年間入館者数 (うち 18 歳未満の子どもの数) | 10,348 人 (1,586 人) | 12,000 人 (2,300 人) |

■ 施策 7 子どもの成長を支える環境の整備

| 指標 | 現況値 | 目標値 |
|--|----------|----------|
| | 平成 27 年度 | 平成 33 年度 |
| 家庭や地域において、健全育成のための青少年教育 が行われていると回答した市民の割合 | 23.7% | 40% |
| 青少年育成市民会議主催の市内一斉あいさつ運動 の参加者数 | 975 人 | 1,800 人 |
| 放課後子ども教室の開催延べ回数 | 65 回 | 98 回 |

■ 施策 8 スポーツ・レクリエーションの振興

| 指標 | 現況値 | 目標値 |
|---|----------|----------|
| | 平成 27 年度 | 平成 33 年度 |
| 習慣的にスポーツやレクリエーション活動を行っ ていると回答した市民の割合 | 37.4% | 50% |